

旧唐津銀行 辰野金吾記念館 竣工 110 周年記念

唐津出身プロカメラマン
ひろし
山口大志写真展

「南米アマゾン川を撮るー不思議な生き物をたずねてー」
& ギャラリートーク

日時 ・写真展

令和4年 **6月17日** (金) ~ **7月3日** (日) 9:00~18:00

・ギャラリートーク ※小学生から大人まで興味深い話が聞けます。

令和4年 **6月25日** (土) ・ **26日** (日) 14:00-15:00

7月 2日 (土) ・ **3日** (日) 14:00-15:00

場所

旧唐津銀行 1 階ギャラリー

唐津市本町 1513-15
TEL 0955-70-1717

入場料

無料

本館駐車場は 1 時間無料です。
1階受付カウンターにて駐車券をお受け取り下さい。



お問い合わせ

旧唐津銀行 0955-70-1717

主催：(一社) 唐津観光協会、ぴ〜ぷる 協力：からつ夢バンク

後援：唐津市教育委員会・佐賀新聞社

●主催者のメッセージ

2010年小惑星探査機「はやぶさ」が地球へ帰還する決定的瞬間を捉えた作品は、国内外の媒体に掲載されましたが、この写真を撮影した写真家山口大志（ひろし）氏は唐津出身であることはあまり知られていません。山口氏は、唐津で過ごした幼少期に昆虫採集や熱帯魚の飼育に夢中になり、この頃、郷土の生き物たちに詳しい「日本野鳥の会 福田司氏」や、「佐賀県昆虫同好会 吉田和充氏」との交流により生き物や自然に興味を深めていきます。2000年より7年にわたり、南米アマゾン川で撮影を続け、生き物や自然を撮影した写真集「AMAZON 密林の時間」（クレヴィス社）を2017年に出版し、全国で個展を開催されています。今回、地元での写真展開催は、唐津の師匠である吉田和充氏の紹介により実現したものです。旧唐津銀行を指定管理者として運営している唐津観光協会・び〜ぶる共同事業体では、旧唐津銀行 辰野金吾記念館 竣工 110周年記念として、志を持って上京し建築界で活躍した辰野金吾に重なる、山口氏の志を広く郷土の皆さんに触れていただきたく、写真展&ギャラリートークを開催します。トークでは、撮影エピソードをユーモラスに話していただけますので、大人だけでなく、お子さんにも聞いていただき、何か感じていただければと思います。

●写真家のメッセージ

アマゾン川へ行ってみよう！

そう思ったのは、小学5年生のときに始めた熱帯魚の飼育がきっかけでした。今から30年以上も前のこと、市内の材木町に熱帯魚を取扱う店があり、そこで買ったネオンテトラやアロワナといったアマゾン川原産の魚にたちまち魅了されました。やがて「アマゾン川はどんな所だろう」と、地図や図鑑で現地を調べるようになったのは、もともと生き物好きな私にとって自然な流れでした。高校卒業後には熱帯への興味から石垣島と西表島へ移住。イリオモテヤマネコの調査員をしながらダイビングや昆虫採集に熱中し、日本の亜熱帯を存分に体験しながら、いつかは南米アマゾンの生き物を観察したい、その気持ちをあたためていました。

カメラマンになった私は、2010年からアマゾン川をフィールドに本格的な撮影をはじめました。アマゾン川は、河口から源流まで6300キロもある世界最大の大河です。ゆったりと流れる川のまわりにはジャングルが広がり、不思議な生き物をテーマにした撮影は、一筋縄ではいきません。以後、それは7年にわたって続けられ、多いときには1年の半分をアマゾン川で過ごすこともありました。撮影のためにピラニアやワニのいる水中へ潜ったり、サルの子の珍しい生態を記録するために、カモフラージュした迷彩テントのなかで3ヵ月待つこともありました。

今回、故郷で南米アマゾンの写真が展示できたことを大変うれしく思います。唐津の穏やかな自然とはちょっと違った、遠い地球の姿をご覧ください。またより多くの作品を掲載した写真集「南米アマゾン・密林の時間」も用意しております。お待ちしております。

●プロフィール

山口 大志（やまぐち ひろし）

1975年、佐賀県唐津市生まれ。幼少時代から昆虫採集や熱帯魚の飼育に夢中になり、自然への興味から1993年に石垣島西表島に移住、7年間を過ごす。この間、環境省西表野生生物保護センターに非常勤勤務。

2004年から4年半、写真家 三好和義に師事後、独立。

2010年、オーストラリア・ウーメラ砂漠で、小惑星探査機「はやぶさ」が地球へ帰還する決定的瞬間を撮影。その作品は首相官邸へ収められた。この頃から、本格的にアマゾンに取り組む。

2012、2013年、日経ナショナルグラフィック写真賞優秀賞、2016年、第5回田淵行男賞岳人賞を受賞、2017年、写真集「AMAZON 密林の時間」（クレヴィス発行）、2019年、「南米アマゾン・土を食う動物たち」（月刊のふしぎ・福音館書店）を出版。

